



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社シード 上場取引所 東
 コード番号 7743 URL <https://www.seed.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）佐藤 隆郎
 問合せ先責任者 （役職名）代表取締役副社長 兼 管理本部長 （氏名）杉山 哲也 TEL 03-3813-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	8,848	3.5	618	△2.0	517	△14.9	336	△11.9
2026年3月期第1四半期	8,547	3.3	630	53.7	608	19.8	381	6.2

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 294百万円（△10.8％） 2026年3月期第1四半期 330百万円（△42.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	11.10	—
2026年3月期第1四半期	12.60	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	66,133	19,081	28.9	630.47
2026年3月期	62,579	19,608	30.8	636.98

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 19,081百万円 2026年3月期 19,278百万円

（注）2027年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	37,000	9.0	2,200	52.8	1,750	24.5	1,350	18.9	44.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社オキュデバイセズ、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	30,265,922株	2026年3月期	30,265,922株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	136株	2026年3月期	136株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	30,265,786株	2026年3月期1Q	30,265,786株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年8月25日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(連結範囲の重要な変更)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(企業結合等関係)	12

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費には持ち直しの動きが見られ、企業の設備投資は省人化投資を含めて堅調に推移しており、全体として景気は緩やかに回復しています。一方で、米国とイランの紛争をはじめとした世界的な地政学リスクの高まりによる石化製品の供給不安に加え、円安の進行によるエネルギー価格や原材料価格の上昇リスクが強く意識されており、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

国内のコンタクトレンズ市場においては、スマートフォンやタブレットの普及、屋外活動時間の減少等を背景に、特に子どもの近視の低年齢化が進んでおり、コンタクトレンズを使用する潜在顧客は増加しています。また、乱視用や遠近両用といったスペシャリティレンズ、就寝時に装用し日中裸眼で視力矯正効果が得られるオルソケラトロジーレンズ等の需要拡大により、市場は緩やかながらも成長を続けています。

海外のコンタクトレンズ市場においては、特に東南アジアやインド等経済成長が期待される国や地域で所得水準の向上や都市化が進み、コンタクトレンズの購入層が拡大しています。また、デジタル端末の普及により近視人口も増加しているため、市場の成長が期待されています。

このような状況の下、当社グループでは、「まだみぬ、世界は、美しい」をパーパスのキャッチコピーに掲げ、多様な「みえる」喜びを創造できる社会の実現を目指し、ニーズに合った満足いただける安全で高品質な製品、サービス等をお客様へご提供できるよう努めております。

中期経営計画（2024年4月～2027年3月）におきましては、「連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤を確保する」ことを掲げており、特に「省人化生産体制の構築による競争力維持」「品質向上による安全安心の追求」「コーポレートブランド再構築による企業価値向上」「環境経営の推進」「人的資源強化による事業基盤の整備」を企業目標達成に向けた重点課題として位置づけ、取り組んでおります。

当社の生産拠点である鴻巣研究所では、国内外でのコンタクトレンズの需要拡大に対応するため、安定した商品供給と今後の成長戦略の実現に向けて、設備の更新や生産ラインの増設を進めております。

新設した4号棟は、2026年3月より稼働を開始し、省人化を実現する生産ラインの構築を進めており、第一期計画（2027年3月期）では、最大生産能力が月産6,500万枚から7,900万枚となる計画です。

第二期計画（2028年3月期）では、月産7,900万枚から8,950万枚への生産能力拡大を予定しておりましたが、生産能力増強計画の進捗状況や設備投資の効率性を総合的に検討し、投資内容の最適化を図ることとした結果、最大生産能力は月産8,250万枚となる計画であり、今後の需要拡大に対応可能な供給体制を引き続き確保してまいります。また、国内外の需要動向を見極めながら、更なる供給能力向上に向けた施策についても柔軟かつ機動的に推進してまいります。

商品戦略としましては、主力商品である国産の「シード1 dayPureシリーズ」の中でも、特に乱視用や遠近両用といったスペシャリティレンズの販売に注力しております。また、Pureブランドのマーケティング戦略を見直し、他社との差別化要素である「国産」「32枚入り」の商品特長を訴求して販売を進めております。

シリコンハイドロゲルレンズにつきましては、「シードAirGradeシリーズ」を中心に展開しております。また、次世代シリコンハイドロゲルレンズの上市に向けた準備も進めております。

サークル・カラーレンズにつきましては、2026年5月に「ベルミー」の水光ヴェール2色、とろける水光「Melly Gloss（メルティーグロス）」、はかなげ水光「Dewy Gray（デューイグレー）」を新発売しました。

オルソケラトロジーレンズ「プレスオーコレクト」につきましては、取扱施設の拡大や定額制サービスの普及により、引き続き需要の喚起を図ってまいります。

研究開発の分野では、2026年7月1日を効力発生日として、当社のスマートコンタクトレンズ事業を会社分割（簡易吸収分割）により、完全子会社である株式会社オキュデバイセズへ承継いたしました。スマートコンタクトレンズ事業に関する経営資源を株式会社オキュデバイセズに集約することによって、将来的な資本・業務提携を見据えたオープンな事業運営が可能となります。また、意思決定プロセスの迅速化を図り、研究開発パートナーとの連携創出を加速することを目的としております。

これらの事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間において、納期遅延の影響を受けていた乱視用や遠近両用の売上が回復したことに加え、「シードAirGradeシリーズ」の拡販や中国越境ECの売上伸長により、売上高は8,848百万円（前年同期比3.5%増）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、人員増加・処遇改善に伴う人件費や治験に伴う研究開発費等が前年同期比で増加しております。その結果として、営業利益618百万円（前年同期比2.0%減）、経常利益517百万円（前年同期比14.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益336百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（コンタクトレンズ・ケア用品）

国内のコンタクトレンズ販売につきましては、主軸となる国産の「シード1 dayPureシリーズ」、シリコーンハイドロゲル素材の「シードAirGradeシリーズ」、市場の成長が見込まれる遠近両用レンズ等の拡販に注力してまいりました。「シード1 dayPureシリーズ」につきましては、乱視用と遠近両用等のスペシャリティレンズが復調したものの、単焦点レンズは競合商品との価格競争の影響を受けたため、前年と同水準で推移しました。オルソケラトロロジーレンズにつきましては、前年同期比11.2%増と伸長しました。サークル・カラーレンズにつきましては、Web広告やノベルティキャンペーン等の効果により、前年同期比2.8%増となりました。

ケア用品につきましては、オルソケラトロロジーレンズ関連のケア用品が増加したため、前年同期比8.2%増となりました。

海外のコンタクトレンズ販売につきましては、中国越境ECにおける売上の伸長に加えて、ベトナムやマレーシアでの販売が堅調に推移したことにより、前年同期比19.3%増となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は8,832百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益1,019百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

（その他）

その他につきましては、売上高は16百万円（前年同期比20.1%減）、営業利益は1百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、66,133百万円となり、前連結会計年度末から3,554百万円増加しております。主な要因としては、鴻巣研究所4号棟の新規設備導入に伴うリース資産及び棚卸資産が増加したことが挙げられます。

負債につきましては、47,052百万円となり、前連結会計年度末から4,080百万円増加しております。主な要因としては、4号棟の建設に伴う長期借入金が増加したことが挙げられます。

純資産につきましては、19,081百万円となり、前連結会計年度末から526百万円減少しております。主な要因としては、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、5,750百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、861百万円（前年同期598百万円の増加）となりました。資金増加の主な要因は、減価償却費の計上1,069百万円や税金等調整前四半期純利益の計上515百万円です。一方、資金減少の主な要因は、棚卸資産の増加1,154百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、7,009百万円（前年同期741百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得6,876百万円が要因となっています。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、7,674百万円（前年同期970百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の借入8,575百万円が要因となっています。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月11日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,211,149	5,851,753
受取手形及び売掛金	5,114,156	4,738,947
商品及び製品	7,642,197	8,529,314
仕掛品	551,831	643,645
原材料及び貯蔵品	1,258,751	1,395,495
前渡金	162,957	2,332
未収入金	733,562	1,019,657
その他	2,195,750	1,441,159
貸倒引当金	△54,630	△34,705
流動資産合計	21,815,726	23,587,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,082,700	18,800,184
機械装置及び運搬具（純額）	2,179,014	2,328,017
土地	6,234,249	6,231,486
リース資産（純額）	8,073,821	10,150,418
建設仮勘定	406,613	258,978
その他（純額）	849,167	853,571
有形固定資産合計	36,825,567	38,622,658
無形固定資産		
のれん	857,346	837,250
その他	838,791	903,791
無形固定資産合計	1,696,137	1,741,041
投資その他の資産		
投資有価証券	969,931	947,125
その他	1,272,220	1,235,379
投資その他の資産合計	2,242,151	2,182,505
固定資産合計	40,763,857	42,546,204
資産合計	62,579,584	66,133,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	356,281	363,110
短期借入金	13,894,586	15,465,600
リース債務	2,092,751	2,406,165
未払金	9,946,376	3,154,697
未払法人税等	309,072	170,816
賞与引当金	560,239	291,458
製品保証引当金	101,870	109,860
その他	397,489	541,870
流動負債合計	27,658,666	22,503,579
固定負債		
長期借入金	5,592,016	12,815,929
リース債務	6,890,136	8,877,315
退職給付に係る負債	2,615,683	2,645,695
資産除去債務	39,774	39,774
その他	174,978	169,799
固定負債合計	15,312,589	24,548,514
負債合計	42,971,256	47,052,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,532,319	3,532,319
資本剰余金	4,774,783	4,726,385
利益剰余金	9,425,277	9,307,320
自己株式	△83	△83
株主資本合計	17,732,297	17,565,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	447,453	433,057
繰延ヘッジ損益	8,729	10,430
為替換算調整勘定	642,287	653,526
退職給付に係る調整累計額	447,886	418,755
その他の包括利益累計額合計	1,546,357	1,515,769
非支配株主持分	329,673	—
純資産合計	19,608,327	19,081,712
負債純資産合計	62,579,584	66,133,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,547,718	8,848,903
売上原価	4,699,645	4,697,233
売上総利益	3,848,072	4,151,669
販売費及び一般管理費	3,217,175	3,533,151
営業利益	630,897	618,518
営業外収益		
受取利息	2,643	1,486
受取配当金	9,247	10,176
受取賃貸料	12,365	12,058
受取保険金	243	431
為替差益	41,534	24,261
助成金収入	11,563	15,497
売電収入	12,250	11,995
その他	2,695	7,730
営業外収益合計	92,544	83,637
営業外費用		
支払利息	97,984	159,455
その他	17,066	25,208
営業外費用合計	115,050	184,664
経常利益	608,391	517,491
特別利益		
固定資産売却益	418	—
子会社清算益	22,843	—
特別利益合計	23,261	—
特別損失		
固定資産除却損	0	2,251
固定資産売却損	4	—
特別損失合計	4	2,251
税金等調整前四半期純利益	631,648	515,239
法人税、住民税及び事業税	27,334	143,540
法人税等調整額	221,163	46,296
法人税等合計	248,497	189,837
四半期純利益	383,150	325,401
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	1,874	△10,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	381,276	336,030

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	383,150	325,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,871	△14,396
繰延ヘッジ損益	△34,260	1,700
為替換算調整勘定	△41,362	11,238
退職給付に係る調整額	△8,051	△29,130
その他の包括利益合計	△52,803	△30,587
四半期包括利益	330,347	294,813
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,953	295,584
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,606	△770

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	631,648	515,239
減価償却費	755,697	1,069,306
のれん償却額	16,288	31,712
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,340	△20,625
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△37,576	△2,731
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△249,604	△268,781
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	6,010	7,990
受取利息及び受取配当金	△11,891	△11,662
受取保険金	△243	△431
支払利息	97,984	159,455
子会社清算損益 (△は益)	△22,843	—
固定資産売却損益 (△は益)	△413	—
固定資産除却損	0	2,251
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,729	379,929
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△421,973	△1,154,221
前渡金の増減額 (△は増加)	84	160,624
未収入金の増減額 (△は増加)	205,384	△284,880
立替金の増減額 (△は増加)	△368,316	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△191,674	8,503
未払金の増減額 (△は減少)	538,434	444,977
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△44,163	△60,231
その他	△185,974	269,675
小計	700,786	1,246,102
利息及び配当金の受取額	11,891	11,662
利息の支払額	△81,204	△164,210
保険金の受取額	243	431
法人税等の支払額	△60,281	△232,970
和解金の受取額	26,937	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	598,373	861,015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,724	△60,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	3,299	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△452,586	—
有形固定資産の取得による支出	△276,683	△6,876,827
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△16,838	△80,247
投資有価証券の取得による支出	△208	△208
貸付金の回収による収入	250	231
預り保証金の受入による収入	9,593	—
敷金及び保証金の差入による支出	△245	△1,917
敷金及び保証金の回収による収入	153	12,341
その他	—	△3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△741,989	△7,009,628

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	300,000	790,000
長期借入れによる収入	—	8,575,000
長期借入金の返済による支出	△466,818	△587,302
配当金の支払額	△440,843	△444,127
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	—	△191,758
リース債務の返済による支出	△363,265	△467,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△970,927	7,674,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,460	53,458
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,147,003	1,579,424
現金及び現金同等物の期首残高	7,078,106	4,171,368
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	127,272	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 6,058,375	※ 5,750,793

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社オキュデバイセズを連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他（注）	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	8,527,464	8,527,464	20,254	8,547,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	8,527,464	8,527,464	20,254	8,547,718
セグメント利益	1,100,459	1,100,459	1,572	1,102,032

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,100,459
「その他」の区分の利益	1,572
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△471,134
四半期連結損益計算書の営業利益	630,897

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であるContact Lens Precision Laboratories LtdがScotlens Holdings Limitedの株式を取得し、また当社の連結子会社である上海実瞳光学科技有限公司が上海幻櫻商貿有限公司の株式を取得したことから、Scotlens Holdings Limited及びその100%子会社であるScotlens Limited、上海幻櫻商貿有限公司を連結の範囲に含めたことに伴い、「コンタクトレンズ・ケア用品」セグメントにおいて、のれんが519,599千円発生しております。なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他（注）	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	8,832,711	8,832,711	16,192	8,848,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	8,832,711	8,832,711	16,192	8,848,903
セグメント利益	1,019,794	1,019,794	1,417	1,021,211

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,019,794
「その他」の区分の利益	1,417
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△402,692
四半期連結損益計算書の営業利益	618,518

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
現金及び預金勘定	6,105,942千円	5,851,753千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△47,566	△100,960
現金及び現金同等物	6,058,375	5,750,793

（企業結合等関係）

（企業結合に係る暫定的な処理の確定）

2025年4月1日に行われた当社の連結子会社であるContact Lens Precision Laboratories Ltd.がScotlens Limitedの持株会社であるScotlens Holdings Limitedの株式を取得した企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額の見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額410,428千円は、会計処理の確定により209,616千円減少し、200,812千円となっております。のれんの減少は、無形固定資産その他が279,488千円、繰延税金負債（固定負債その他）が69,872千円増加したことによるものであります。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、無形固定資産その他が290,880千円、繰延税金負債（固定負債その他）が72,720千円、利益剰余金が6,268千円、為替換算調整勘定が381千円それぞれ増加し、のれんが211,509千円減少しております。